

JPW2022サテライト企画  
新薬理学セミナー  
Digital Pharmacology Conference

共催企画/ホームページバナー広告/募金

趣意書

2022年11月30日(水)

パシフィコ横浜+WEB(ハイブリッド開催)

大会長 茂木 正樹

(愛媛大学大学院医学系研究科薬理学講座)

# 新薬理学セミナーDigital Pharmacology Conference

## 開催にあたりまして

謹啓

時下、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、新薬理学セミナーDigital Pharmacology Conference (DPC)の大会長を務めさせていただくこととなりました、愛媛大学大学院医学系研究科薬理学講座 教授の茂木正樹と申します。

革新的な研究手法により新たな病態の解明と治療法を開発し、世界に向けて発信することが希求されています。そのために、Digital技術(IoT、人工知能(AI)、ビッグデータ)を有効に活用し、薬理学は個別化医療(PGx含む)などの「次世代の医療」推進にどう貢献して行くかが問われています。本カンファレンスは、こうした「Society5.0」時代の薬理科学とデジタル医療時代の薬理学の在り方を考え議論する、新しい薬理学の在り方をざっくばらんに話合う場として企画されました。

DPCは、「つなげよう、つながろう」をテーマに、横浜で開催されますJPW2022: Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022 日本薬理学関連学会週間会期中の2022年11月30日(水)に、そのサテライト企画として、日本薬理学会、日本臨床薬理学会を中心とした学会が力を併せて行われる新たな試みであり、現在特別講演(+Meet the Expert)として、テレビ出演や多くの書籍を執筆され皆さまご存知の東京大学の池谷裕二先生、オミクスやバイオインフォマティクスを基にした技術開発のトップランナーである東京医科歯科大学の二階堂愛先生のご講演を予定しております。是非、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

本来、開催に伴う費用は参加登録費で賄われるべきものでありますが、本会を充実させる為に、関係各位にご支援をお願いする次第でございます。また、本会開催にあたり、貴社が支払う共催費等、および貴社が別途支払う開催に関連する費用等について、情報公開されることに同意いたします。本会の趣旨をご賢察の上、何卒応分のご協力を賜りたく、伏してお願い申し上げます。つきましては、諸費ご多端の折、甚だ恐縮には存じますが、上記の開催趣意をお汲み取り頂きまして、何卒、ご浄財のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

末筆ではございますが貴社の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

謹白

2022年2月吉日

大会長  
愛媛大学大学院医学系研究科薬理学講座 教授  
茂木 正樹

# JPW2022 (Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022)

## 第96回日本薬理学会年会長からのご挨拶

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022 (JPW2022: 日本薬理学関連学会週間)を2022年11月30日(水)～12月3日(土)にパシフィコ横浜にて開催することとなりました。本会は第96回日本薬理学会年会、第43回日本臨床薬理学会学術総会の同時期開催となっております。

薬理学は分子レベルから集団レベルまで、基礎から臨床までの幅広い理解を必要とする、統合的な学問分野です。我が国における薬物治療と創薬のさらなる発展のため、日本薬理学会と日本臨床薬理学会は2018年に京都において第18回国際薬理学・臨床薬理学会議(WCP2018)を主催し、成功させたことで、両学会の活性化と国際化を通じた薬理学の進展へと至る流れが生まれ、今後さらに継続・発展させるため、「つなげよう、つながろう」をスローガンに掲げ、2022年12月にJPW2022として、両学会の同時期開催を行うこととなりました。

新薬理学セミナーDigital Pharmacology Conference(DPC)は、このJPW2022のサテライト企画として開催されます。DPCは「Society5.0」時代の薬理科学とデジタル医療時代の薬理学の在り方を考え議論する、新しい薬理学の在り方をざっくばらんに話合う場として企画されました。同会の趣旨をご賢察の上、何卒応分のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが貴社・貴組織の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

謹白

2022年 2月吉日

Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022

第96回日本薬理学会年会

会長 安西 尚彦

(千葉大学大学院医学研究院薬理学 教授・獨協医科大学医学部 特任教授)



# 開催概要

1. 会議名称: 新薬理学セミナーDigital Pharmacology Conference (DPC)
2. 同時期開催: JPW2022: Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022  
第96回日本薬理学会年会／第43回日本臨床薬理学会学術総会
3. 大会長: 茂木 正樹 (愛媛大学大学院医学系研究科薬理学講座 教授)
4. 会期・会場: 2022年11月30日(水)  
パシフィコ横浜 会議センター  
(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1)  
+ WEB 開催 のハイブリッド開催(予定)
5. 開催組織: Digital Pharmacology Conference 組織委員会
6. 運営事務局: Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022 運営事務局  
株式会社コングレ 大阪本社内  
〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町 3-6-13  
TEL: 06-6229-2555 FAX: 06-6229-2556  
E-mail: jpw2022@congre.co.jp
7. ホームページ: <http://www.congre.co.jp/jpw2022/> 
8. 参加予定者数: 約200名(予定)
9. 予定プログラム:  
特別講演+Meet the Expert(予定): ①東京大学 池谷裕二先生、②東京医科歯科大学 二階堂愛先生  
シンポジウム、ランチョンセミナー、冠セッション、パネルディスカッションなど

## 10. 情報公開について

本会における各種ご共催のお申し込みに関し、日本製薬工業協会策定の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」および日本医療機器産業連合会策定の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、「共催企業と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学術集会等の会合開催にかかる費用を情報公開することについて同意します。

なお、別途同意書への押印・サインは控えさせていただきますので、予めご了承ください。

# Digital Pharmacology Conference 組織委員会

大会長

茂木正樹 愛媛大学医学部 薬理学

副大会長

岸 拓弥 国際医療福祉大学 循環器内科・福岡薬学部

組織委員 (五十音順)

木田圭亮 聖マリアンナ医科大学 薬理学

吉川公平 田辺三菱製薬株式会社 フロンティア創薬ユニット

古武弥一郎 広島大学薬学部 生体機能分子動態学

小山隆太 東京大学薬学部 医療薬学

成田 年 星薬科大学 薬理学

西村有平 三重大学医学部 統合薬理学

前田和哉 北里大学薬学部 薬剤学

## キャンセルポリシー

申込み受理後は、組織委員会が不可抗力と認めた事象以外は原則解約することはできません。  
組織委員会が解約を認めた場合には、出展解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いください。

### ※解約料金

申込締切日までに受領した場合…請求額(協賛料金)の50%をお支払いください。

申込締切日以後に受領した場合…請求額(協賛料金)の全額をお支払いください。

天災・その他のやむを得ない事情、並びに主催の責任に帰し得ない原因により、大会および展示会の開催を変更・中止する場合があります。この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。  
前述の原因により開催中止、または開催形式が変更になった場合は、主催は協賛各社に対し、共催費・協賛費から準備費用を除いた金額を算出し、請求または返金いたします。

# 協賛概要

## 1. ランチョンセミナー

開催期間中、Digital Pharmacology Conference(DPC)の会場において、下記要領にて開催いたします。

開催日時 2022年11月30日(水)の昼食時60分間

募集数:1セミナー

共催費: 1,100,000円 (税込)

### ●プログラム内容について

テーマ、座長・演者の選定については、共催企業さまのご希望を勘案し、ご相談させていただきます。

演者や座長へのご依頼は貴社にて行ってください。

開催枠決定までは、打診をお控えいただきますようお願いいたします。

### ●協賛要領

#### (1) 共催費に含まれるもの

①映像関係: PC1台、プロジェクター1台、スクリーン1面、計時回線1式、レーザーポインター1本、  
卓上ライト3台、PCオペレーター

②音響関係: 座長・演者用マイク各1本、進行マイク1本、質疑用マイク(本数は会場により異なります)

③講師控室料

#### (2) 共催費に含まれないもの(※貴社にてご負担ください。)

①座長・演者の謝礼、交通・宿泊費

②人件費: 共催セミナー運営スタッフ(アナウンス係、お弁当・資料配布係、照明係、誘導係等)

③看板・表示物: 会場表示立札、座長・演者氏名掲示、ポスターおよび共催セミナー案内状(A4チラシ)等  
の印刷・制作費

※ 会場表示立札、氏名掲示は大会統一デザインにて作成のため、外部からのお持込みはご遠慮  
ください。

④参加者用飲食代: 参加者用弁当(飲料込み)、座長・演者打合せ食事等

※ 会場の都合上、外部からのお持込みはご遠慮ください。

⑤追加機材: 同時通訳、収録、控室の機材等

### ●申込期日: 2022年6月30日(木)

※昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本会の中止や延期、開催方法の変更、開催規模縮小等が  
必要となることも予想されますので、その場合には、改めて詳細についてご連絡申しあげます。

## 2. スポンサーセミナー

開催期間中、Digital Pharmacology Conference(DPC)の会場において、下記要領にて開催いたします。

開催日時 2022年11月30日(水)の午前または午後60分間

募集数:1セミナー

共催費: 1,100,000円 (税込)

### ●プログラム内容について

テーマ、座長・演者の選定については、共催企業さまのご希望を勘案し、ご相談させていただきます。

演者や座長へのご依頼は貴社にて行ってください。

開催枠決定までは、打診をお控えいただきますようお願いいたします。

●協賛要領

(1) 共催費に含まれるもの

- ①映像関係：PC1台、プロジェクター1台、スクリーン1面、計時回線1式、レーザーポインター1本、  
卓上ライト3台、PCオペレーター
- ②音響関係：座長・演者用マイク各1本、進行マイク1本、質疑用マイク(本数は会場により異なります)
- ③講師控室料

(2) 共催費に含まれないもの(※貴社にてご負担ください。)

- ①座長・演者の謝礼、交通・宿泊費
- ②人件費：共催セミナー運営スタッフ(アナウンス係、お弁当・資料配布係、照明係、誘導係等)
- ③看板・表示物：会場表示立札、座長・演者氏名掲示、ポスターおよび共催セミナー案内状(A4チラシ)等の印刷・制作費  
※ 会場表示立札、氏名掲示は大会統一デザインにて作成のため、外部からのお持込みはご遠慮ください。
- ④追加機材：同時通訳、収録、控室の機材等

●申込期日：2022年6月30日(木)

※昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本会の中止や延期、開催方法の変更、開催規模縮小等が必要となることも予想されますので、その場合には、改めて詳細についてご連絡申し上げます。

**3. 冠セッション(シンポジウム、パネルディスカッションなど)**

開催期間中、Digital Pharmacology Conference(DPC)の会場において、下記要領にて開催いたします。

開催日時 2022年11月30日(水)の午前または午後

募集数:1セミナー

共催費：440,000円(税込)

●プログラム内容について

テーマ、座長・演者の選定については、共催企業さまのご希望を勘案し、ご相談させていただきます。  
演者や座長へのご依頼は貴社にて行ってください。  
開催枠決定までは、打診をお控えいただきますようお願いいたします。

●協賛要領

(1) 共催費に含まれるもの

- ①映像関係：PC1台、プロジェクター1台、スクリーン1面、計時回線1式、レーザーポインター1本、  
卓上ライト3台、PCオペレーター
  - ②音響関係：座長・演者用マイク各1本、進行マイク1本、質疑用マイク(本数は会場により異なります)
- (2) 共催費に含まれないもの(※貴社にてご負担ください。)

- ①座長・演者への謝金、交通費、宿泊費など
- ②人件費：共催セミナー運営スタッフ(アナウンス係、お弁当・資料配布係、照明係、誘導係等)
- ③看板・表示物：会場表示立札、座長・演者氏名掲示、ポスターおよび共催セミナー案内状(A4チラシ)等の印刷・制作費  
※ 会場表示立札、氏名掲示は大会統一デザインにて作成のため、外部からのお持込みはご遠慮ください。



④追加機材：同時通訳、収録、控室の機材等

●申込期日：2022年6月30日(木)

※昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本会の中止や延期、開催方法の変更、開催規模縮小等が必要となることも予想されますので、その場合には、改めて詳細についてご連絡申し上げます。

#### 4. DPCホームページバナー広告募集要項

1. 媒体名： Japan Basic and Clinical Pharmacology Week 2022 ホームページ
2. 掲載ページ： 上記ホームページ(<http://www.congre.co.jp/jpw2022/>)から入る「Digital Pharmacology Conference」ページでの掲載  
※掲載箇所は主催事務局ならびに運営事務局にご一任願います。
3. 掲載要項：  
    閲覧対象： 日本薬理学会会員、日本臨床薬理学会会員 他  
    主要コンテンツ： 開催概要、プログラム、演題登録、参加案内、宿泊案内 他
4. 掲載期間： お申込みデータ受取後に公開～2022年12月末(予定)
5. 広告掲載料： 55,000円(税込)/1枠  
    バナーを掲載次第、広告掲載料のご請求書をお送りいたします。  
    請求書の発行日より1ヶ月以内に指定口座へのお振込みをお願いいたします。  
    (手数料は貴社にてご負担ください。)
6. 募集数： 2枠(予定)
7. 広告仕様： バナー広告のデータは下記の仕様で貴社にてご準備ください。
  - バナーサイズはW240px×H50px
  - GIF方式、JPEG方式
  - バナーのリンク先は貴社にご一任いたします。(貴社ホームページ、製品紹介ページ等)
8. 申込期日： 2022年8月31日(水)

#### 申込方法

オンラインでのお申込みとなります。

本会ホームページよりお申込みください。

※募集枠数に達し次第締め切らせていただきます。

※複数企業との共同開催も可能です。

※お申込みいただいたセミナーの内容等が他のセミナーと重複した場合には、主催者より調整させていただく場合があります。

企業展示とアカデミア展示に関しましては JPW2022 へお願い致します (HP 参照)

## 資料【収支予算書】

## ●収入の部

項目	数量	金額
<b>I 参加費</b>		<b>2,000,000</b>
1 DPC当日参加登録費	@10,000 × 200名	2,000,000
<b>II セミナー共催費</b>		<b>2,640,000</b>
1 DPCランチョンセミナー	@1,100,000 × 1社	1,100,000
2 スポンサーセミナー	@1,100,000 × 1社	1,100,000
3 冠セッション	@440,000 × 1社	440,000
<b>IV 広告収入</b>		<b>110,000</b>
1 DPC HPバナー	@55,000 × 2社	110,000
<b>V 学会本部補助金</b>		<b>300,000</b>
1 薬理学振興助成		300,000
<b>合計</b>		<b>¥5,050,000</b>

## ●支出の部

項目	金額
<b>I 事前準備費</b>	<b>2,108,700</b>
1 事務費	672,100
2 ホームページ作成費	374,000
3 制作物関係費	622,600
4 通信費	165,000
5 参加登録関係費	275,000
<b>II 当日運営費</b>	<b>2,359,255</b>
1 会場費	291,500
2 機材関係費	805,640
3 看板関係	162,800
4 運営人件費	382,800
5 その他経費、備品等	332,200
6 招聘費	300,000
7 飲食・会合費	84,315
<b>III 事後処理費</b>	<b>17,600</b>
1 事後処理費	17,600
<b>IV 業務委託費</b>	<b>379,249</b>
1 業務委託費	379,249
小計	4,864,804
予備費	185,196
<b>合計</b>	<b>¥5,050,000</b>